

# 宮崎県感染症週報

宮崎県感染症対策課・宮崎県衛生環境研究所

## 令和4年第47週の発生動向

### トピックス

・第47週時点の**梅毒**(全数報告の感染症)の累積報告数が91例と、1999年以降最も多くなった前年の89例を超える報告数となっている。

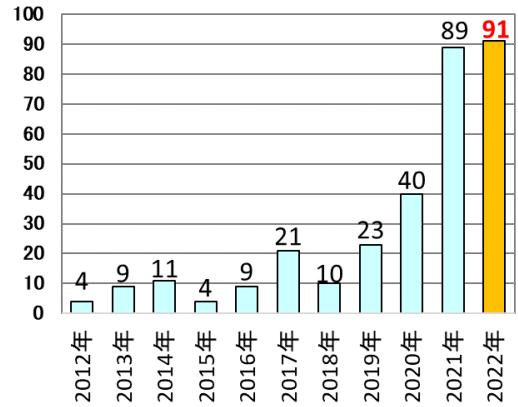
性別は男性が56例、女性が35例で、年齢群別では、20歳代が全体の約4割を占めている。また、保健所別では宮崎市保健所管内からの報告が最も多く、55例となっている。

【梅毒】2022年(第1週~第47週)年齢別報告数

10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代
7	35	20	14	9	4	2

・**新型コロナウイルス感染症**(新型インフルエンザ等感染症)の報告が3,692例あり、先週(2,881例)の約1.3倍であった。2022年の累積報告数は207,854例となった。※詳細は宮崎県新型コロナウイルス感染症特設サイトを御覧ください。

【梅毒】診断週による  
年別累計報告数の推移



※2022年は第1週~第47週まで

### 全数報告の感染症 (47週までに新たに届出のあったもの)

1類感染症：報告なし。2類感染症：結核1例。3類感染症：報告なし。

4類感染症：つつが虫病7例、日本紅斑熱1例。5類感染症：急性弛緩性麻痺1例、梅毒2例。

	疾患名	報告保健所	年齢群	性別	病型・類型	症状等
2類	結核	宮崎市	90歳代	女	無症状病原体保有者	なし
4類	つつが虫病	宮崎市	80歳代	男	—	刺し口、発疹
		都城	70歳代	男	—	発熱、刺し口
		小林	60歳代	女	—	発熱、刺し口、リンパ節腫脹、発疹
			70歳代	女	—	発熱、刺し口、発疹
			70歳代	男	—	発熱、刺し口、発疹、全身倦怠感
			70歳代	女	—	刺し口、発疹、食欲低下、全身の発赤
			90歳代	女	—	頭痛、発熱、刺し口、発疹
日本紅斑熱	宮崎市	70歳代	男	—	発熱、刺し口、肝機能異常	
5類	急性弛緩性麻痺	都城	5~9歳	男	病原体不明	弛緩性麻痺、深部腱反射低下、筋萎縮、髄液細胞数増加
	梅毒	宮崎市	20歳代	男	早期顕症梅毒Ⅰ期	硬性下疳、鼠径部リンパ節腫脹
40歳代			男	早期顕症梅毒Ⅱ期	梅毒性パラ疹	

### 定点把握の対象となる5類感染症

・定点医療機関からの報告総数は297人(定点当たり8.5)で、前週比106%と増加した。なお、前週に比べ増加した主な疾患はA群溶血性レンサ球菌咽頭炎と感染性胃腸炎で、減少した主な疾患はRSウイルス感染症と手足口病であった。

★インフルエンザ・小児科定点からの報告★

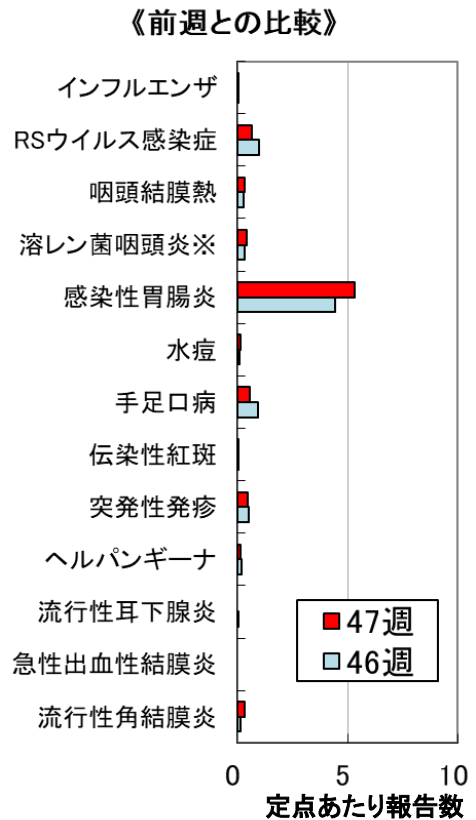
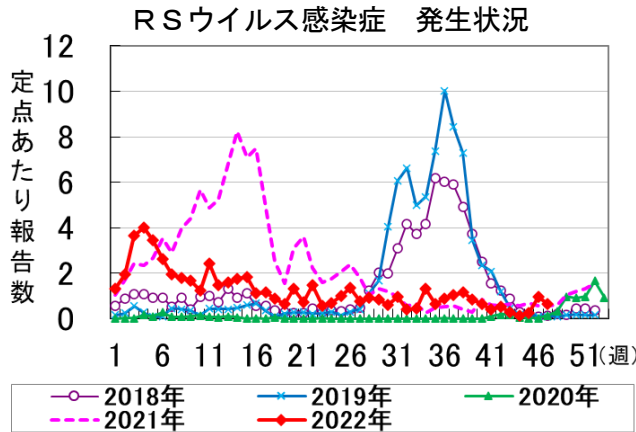
【RSウイルス感染症】

報告数は24人(0.67)で、前週比69%と減少した。例年同時期の定点あたり平均値\*(0.36)の約1.8倍であった。小林(4.3)、都城(1.3)保健所からの報告が多く、年齢群別は6ヵ月から4歳が全体の約9割を占めた。

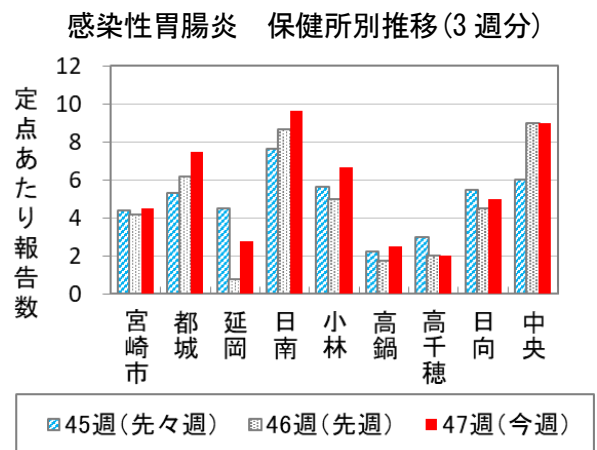
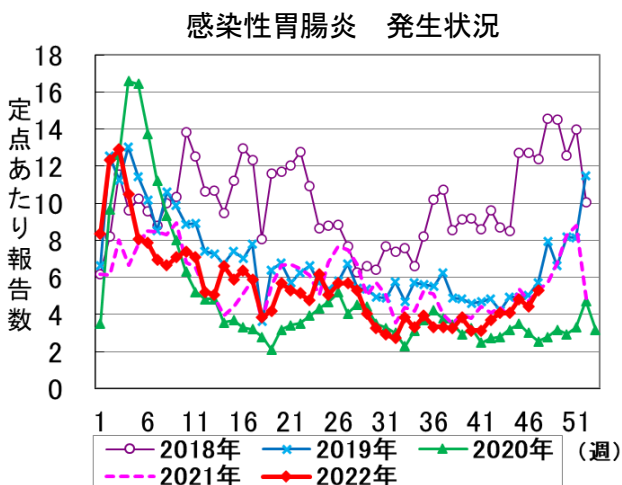
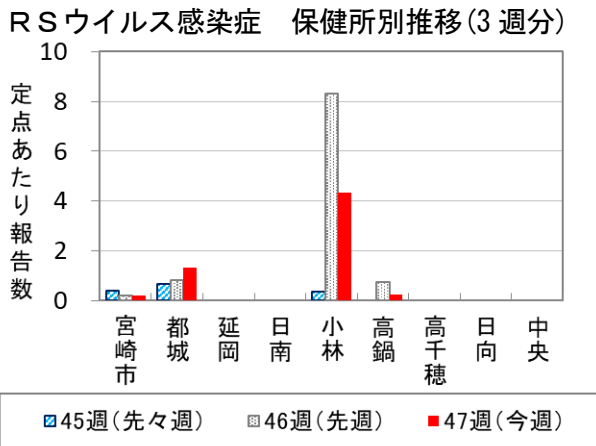
【感染性胃腸炎】

報告数は191人(5.3)で、前週比120%と増加した。例年同時期の定点あたり平均値\*(7.3)の約0.7倍であった。日南(9.7)、中央(9.0)、都城(7.5)保健所からの報告が多く、年齢群別は1歳から3歳が全体の約4割を占めた。

\* 過去5年間の当該週、前週、後週(計15週)の平均



※ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



★基幹定点からの報告★ なし

★保健所別 流行警報・注意報レベル基準値以上の疾患★ なし

## 📊 全国 2022 年第 46 週の発生動向

### □ 全数報告の感染症

1類感染症	報告なし					
2類感染症	結核	226 例				
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	30 例				
4類感染症	E型肝炎	8 例	A型肝炎	1 例	重症熱性血小板減少症候群	1 例
	つつが虫病	32 例	デング熱	1 例	日本紅斑熱	2 例
	レジオネラ症	26 例				
5類感染症	アメーバ赤痢	4 例	ウイルス性肝炎	5 例	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	26 例
	急性弛緩性麻痺	2 例	急性脳炎	10 例	クロイツフェルト・ヤコブ病	1 例
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	11 例	後天性免疫不全症候群	7 例	ジアルジア症	1 例
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	3 例	侵襲性肺炎球菌感染症	22 例	水痘(入院例)	6 例
	梅毒	202 例	破傷風	2 例	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	1 例
	百日咳	12 例	薬剤耐性アシネトバクター感染症	1 例		

### □ 定点把握の対象となる 5 類感染症

定点医療機関当たりの患者報告総数は前週比 104%とほぼ横ばいであった。なお、前週と比較して増加した主な疾患はインフルエンザと感染性胃腸炎で、減少した主な疾患は水痘と手足口病であった。

RSウイルス感染症の報告数は 2,336 人(0.74)で前週比 95%と増加した。例年同時期の定点当たり平均値\*(0.45)の約 1.6 倍であった。山形県(2.8)、福島県(2.7)、沖縄県(2.5)からの報告が多く、年齢群別では 3 歳以下が全体の約 9 割を占めた。

感染性胃腸炎の報告数は 10,087 人(3.2)で前週比 115%と増加した。例年同時期の定点当たり平均値\*(4.1)の約 0.8 倍であった。福井県(7.8)、埼玉県(6.1)、大分県(5.9)からの報告が多く、年齢群別では 1 歳から 4 歳が全体の約半数を占めた。

\* 過去 5 年間の当該週、前週、後週(計 15 週)の平均

宮崎県 感染症情報

(71定点医療機関)

2022年 第47週(11月21日～11月27日)

疾病名		第46週	第47週	宮崎市	都城	延岡	日南	小林	高鍋	高千穂	日向	中央
インフルエンザ	報告数	2	3			2		1				
	定点当り	0.03	0.05	0.00	0.00	0.29	0.00	0.25	0.00	0.00	0.00	0.00
RSウイルス 感染症	報告数	35	24	2	8			13	1			
	定点当り	0.97	0.67	0.20	1.33	0.00	0.00	4.33	0.25	0.00	0.00	0.00
咽頭結膜熱	報告数	11	12	6	3	3						
	定点当り	0.31	0.33	0.60	0.50	0.75	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	報告数	12	16	8	1		5		2			
	定点当り	0.33	0.44	0.80	0.17	0.00	1.67	0.00	0.50	0.00	0.00	0.00
感染性胃腸炎	報告数	159	191	45	45	11	29	20	10	2	20	9
	定点当り	4.42	5.31	4.50	7.50	2.75	9.67	6.67	2.50	2.00	5.00	9.00
水痘	報告数	3	5	1	1	1			1		1	
	定点当り	0.08	0.14	0.10	0.17	0.25	0.00	0.00	0.25	0.00	0.25	0.00
手足口病	報告数	33	20	4	2	9	1	1		2	1	
	定点当り	0.92	0.56	0.40	0.33	2.25	0.33	0.33	0.00	2.00	0.25	0.00
伝染性紅斑	報告数	1	1		1							
	定点当り	0.03	0.03	0.00	0.17	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
突発性発しん	報告数	18	17	4	7	1		2	2		1	
	定点当り	0.50	0.47	0.40	1.17	0.25	0.00	0.67	0.50	0.00	0.25	0.00
ヘルパンギーナ	報告数	7	6	3	1			1		1		
	定点当り	0.19	0.17	0.30	0.17	0.00	0.00	0.33	0.00	1.00	0.00	0.00
流行性耳下腺炎	報告数	1										
	定点当り	0.03	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
急性出血性結膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						
流行性角結膜炎	報告数	1	2	2								
	定点当り	0.17	0.33	0.67	0.00	0.00						
細菌性髄膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
無菌性髄膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
マイコプラズマ 肺炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
クラミジア肺炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	

インフルエンザ定点:58、小児科定点:36(インフルエンザ定点を兼ねる)、眼科定点:6、基幹定点:7

●全数把握対象疾患累積報告数(2022年 第1週～47週)

2類感染症	結核	110例(1)		
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	65例		
4類感染症	E型肝炎	2例	重症熱性血小板減少症候群	10例
	日本紅斑熱	12例(1)	レジオネラ症	4例
5類感染症	アメーバ赤痢	2例	ウイルス性肝炎	6例
	急性弛緩性麻痺	1例(1)	急性脳炎	3例
	クロイツフェルト・ヤコブ病	1例	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	2例
	ジアルジア症	1例	侵襲性インフルエンザ菌感染症	1例
	水痘(入院例)	3例	梅毒	91例(2)
	破傷風	5例	百日咳	14例
新型インフルエンザ 等感染症	新型コロナウイルス感染症	207854例(3692)		

( )内は今週届出分、再掲